



トンネル切羽の作業状況の見える化

トンネル掘削の切羽で現在行われている作業を坑口付近の路面にプロジェクターで投影することにより、現在の切羽作業の危険度や、坑内への立入可能の有無を見える化した。

ちなみに、当現場では「掘削」⇒「ずり出し」⇒「吹付」⇒「ロックボルト」の4工種を作業の順に投影している。